

第10回K. CATフォーラム

これまでの提案の紹介

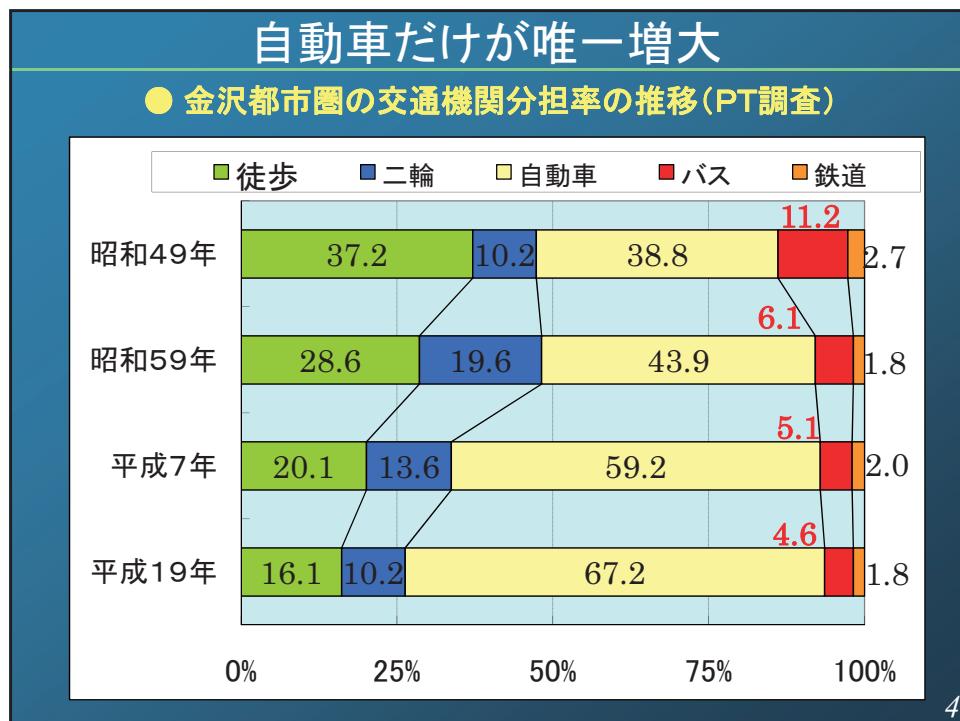
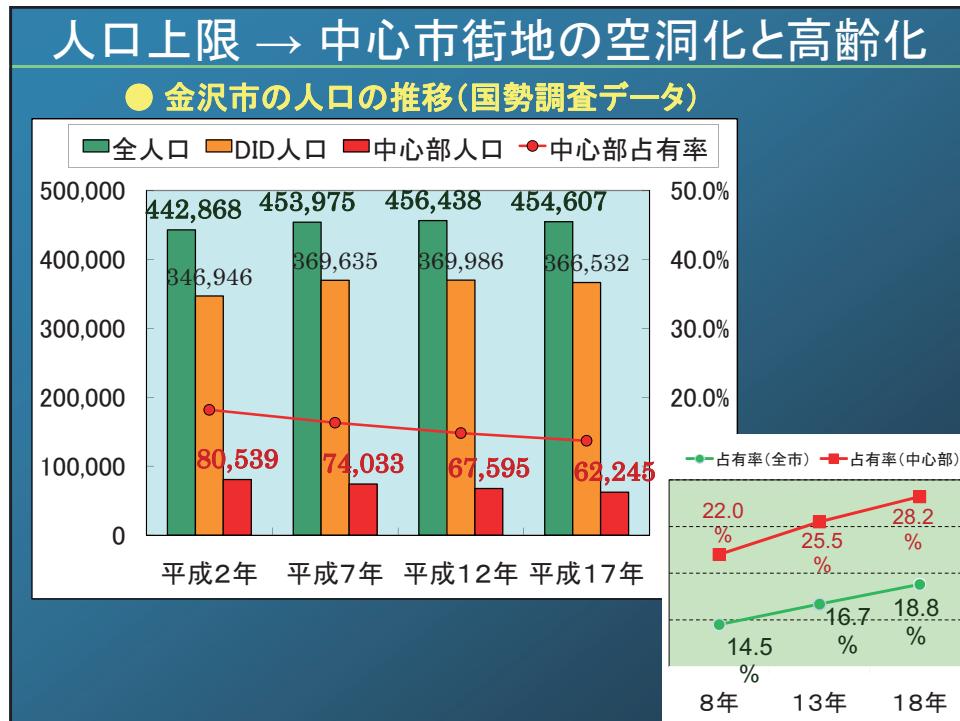
1

近年の金沢市の推移

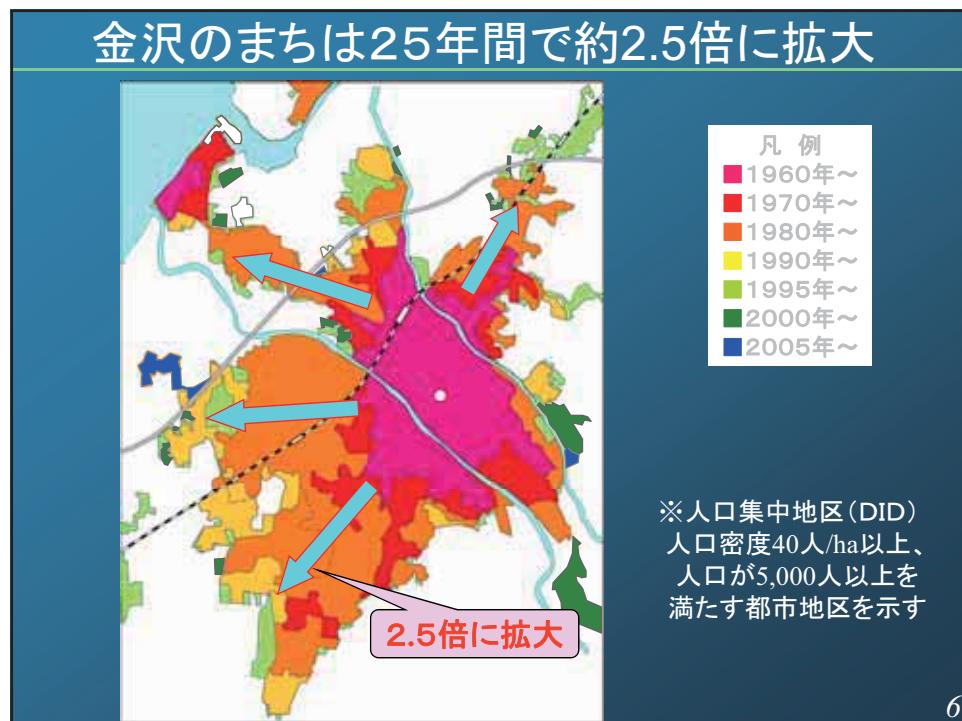
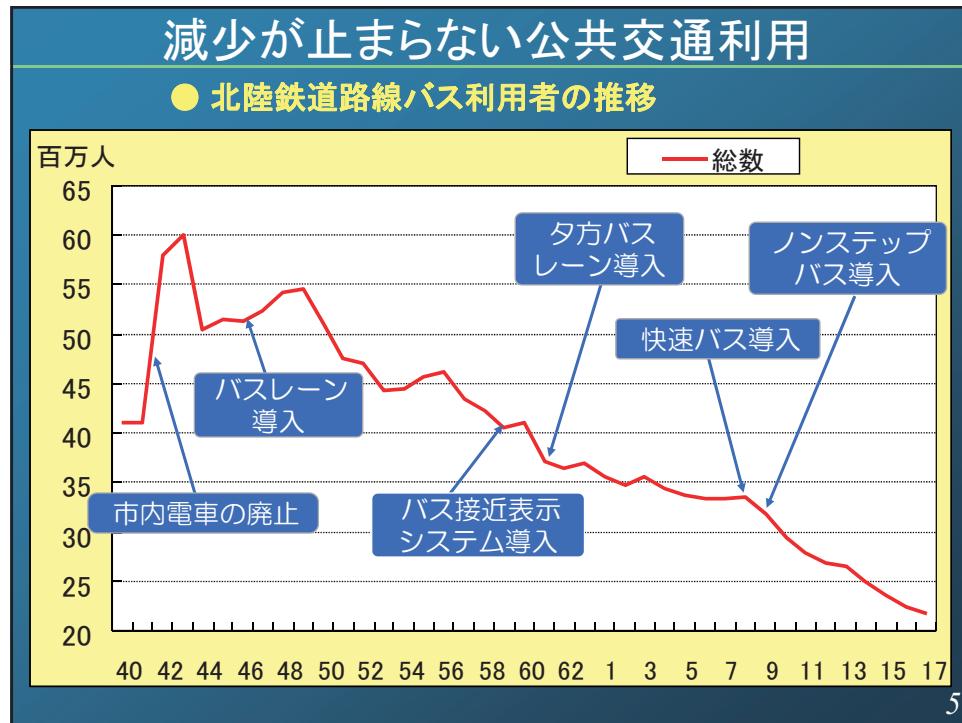
人口・交通・市街地・観光

2

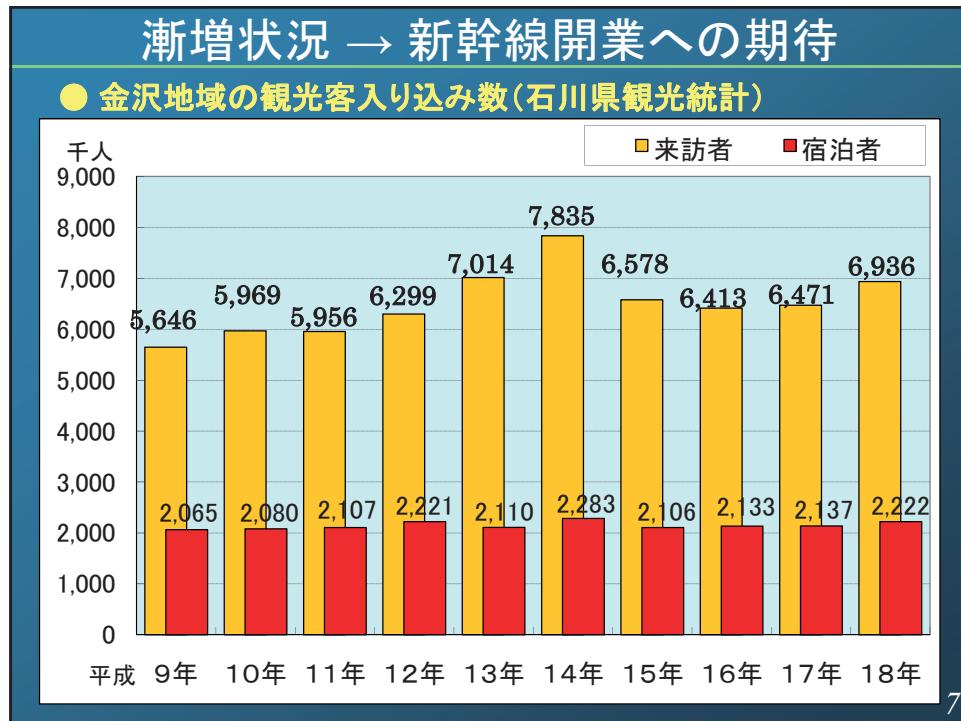
第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)



4



第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)



7

K. CATの活動と提案

Kanazawa City And Transportation

8

K. CAT全体について

- ・目的 「金沢のまちづくり、特に都市と交通のあり方について、その方向性や施策を行政・市民に提案する。」
- ・参加者 代表・金沢大学工学部教授 高山純一
学識者、経済人、一般市民、行政担当者等
(立場を離れ一個人としての参加)
- ・活動内容 勉強会・フォーラムの開催・提言
- ・テーマ設定方法 時代のニーズや将来性を見据えて設定
- ・フォーラムの開催方針 ディベートなどの討論会方式、来場者も参加できる形式。
- ・成果の活かし方 提言・行政施策に反映、問題意識の向上

9

発足当初の研究会

- ・平成10年度 K.CAT発足
- ・産官学 17名
- ・「金沢都市圏における中心市街地の役割と魅力アップ方策～交通施策を中心として～」
- ・検討テーマ
 - ①金沢都市圏における都心の役割は何か？
 - ②都心活性化は必要か？その方向性は？
 - ③都心活性化のために必要な方策は何か？
 - ④金沢に望まれる将来の交通システム像は？

10

AHPアンケートによる評価実験

- ・背景—新交通システムの必要性?
(ガイドウェイバス・LRTの議論)
- ・AHPアンケートとは「一対比較による評価の構造化」手法
- ・K.CATメンバーによる代替案の評価
- ・評価の視点—①利便性
②環境性
③経営採算性
④都市の魅力

11

第1回 金沢のバス交通を考える まちからバスが消えるとき…

H11.12.11開催



◆ 背景

中心市街地活性化、バス交通の危機

◆ 全体の目標

都心活性化のシナリオづくり、具体的な都市交通施策のタマだし

◆ フォーラムのねらい

①交通や都心の現状を知ってもらう

②バス交通の重要性を理解してもらう

③その上で行政や市民が何をすべきかを議論

◆ 形式:ディベート討論型

自動車優先派vsバス優先派

+参加者アンケート 12

第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)

13

第2回 金沢の中心市街地を考える ～まちからにぎわいが消えるとき～

H13.1.14開催

◆ 背景

中心市街地の空洞化問題

◆ フォーラムのねらい

- ①中心部と郊外の居住・商業などの現状認識
 - ②中心部と郊外のどちらに都市整備の重点を置くか。

◆ 形式・ディベート討論型

中心市街地活性化派vs郊外開発推進派

+AHPアンケート



第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)

●2001年1月15日 北國新聞

市街地活性化派VS郊外開発推進派

都市と交通を考える会 市の将来像 活発議論

参加者の評価される

中心部の活性化が懸念される金沢市の将来について話し合つたオーラムが十四日、同市高岡の市文化ホールで開かれた。「市街地活性化派」と「郊外開発推進派」に分かれた市の今後について議論した。

学者 市や県の都市計画（代表・高純一）金沢工業大学教授が企画。市民団体や企業、学部教員が企画。市街地活性化派と郊外開発推進派による会である。

金沢のまちづくりについて議論する会で、金沢市・金沢市高岡町の市文化ホールで開かれた。

「市街地活性化派」は、中心部人が住むいの一番」。中心部は歴史的保護すべき。郊外には新規開拓地があること、バランスの取れたまちづくりを取った。その結果、議論では、郊外開発推進派に賛成するが多かったものの、「市街地活性化派」が多かった。「市街地活性化派」は、中心市街地が大きくなることが、行政と市民にとって良い。行政と市民が役割分担しないで、金沢のまちづくりを考えていく」と話した。

15

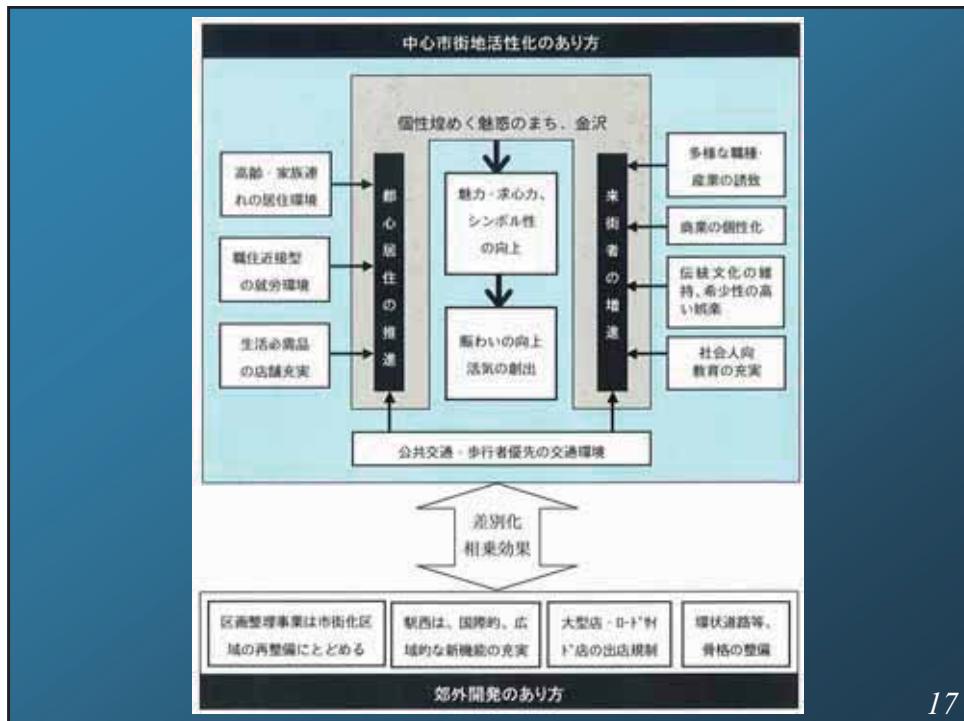
市長提言

発足当初の研究会～第2回会議までの提案をまとめて金沢市長に提言 (H13.7)

- ①金沢の交通とまちづくりのあり方
- ②5つのまちづくり方針
- ③10の具体的施策案
 - ・特に居住と交通について

16

第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)



17

5つの方針と10の施策

◆まちづくり方針

- ①都心居住を進める
- ②まちの個性化、魅力向上を図る
- ③交流機会を増やす
- ④公共交通、歩行者交通優先とする
- ⑤中心市街地への投資を進め、都市全体のコンパクト化を図る

◆具体的施策案

- ①都心居住整備メニューの多様化
- ②官民パートナーシップによる都心居住推進
- ③自動車に依存しない都心居住ライフスタイルの提案
- ④公共交通・歩行者交通優先の空間づくり
- ⑤公共交通によるアクセス機能の強化
- ⑥多様な職種・産業の誘致
- ⑦個性的な専門店の集積
- ⑧社会人学習の推進
- ⑨文化・芸術機能集積ゾーンの創出
- ⑩個性的な娯楽施設の集積

18

第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)

第3回バス交通税?あなたは支払えますか? —バス事業のあり方を一緒に考えましょう—

H14.2.17開催



◆ 背景
バス事業の規制緩和

◆ フォーラムのねらい
①バス交通の現状、バス事業の規制緩和を知ってもらう
②市民にバス交通の今後を考えてもらう

◆ 形式:ディベート討論型
独立採算派vs税金投入派

19

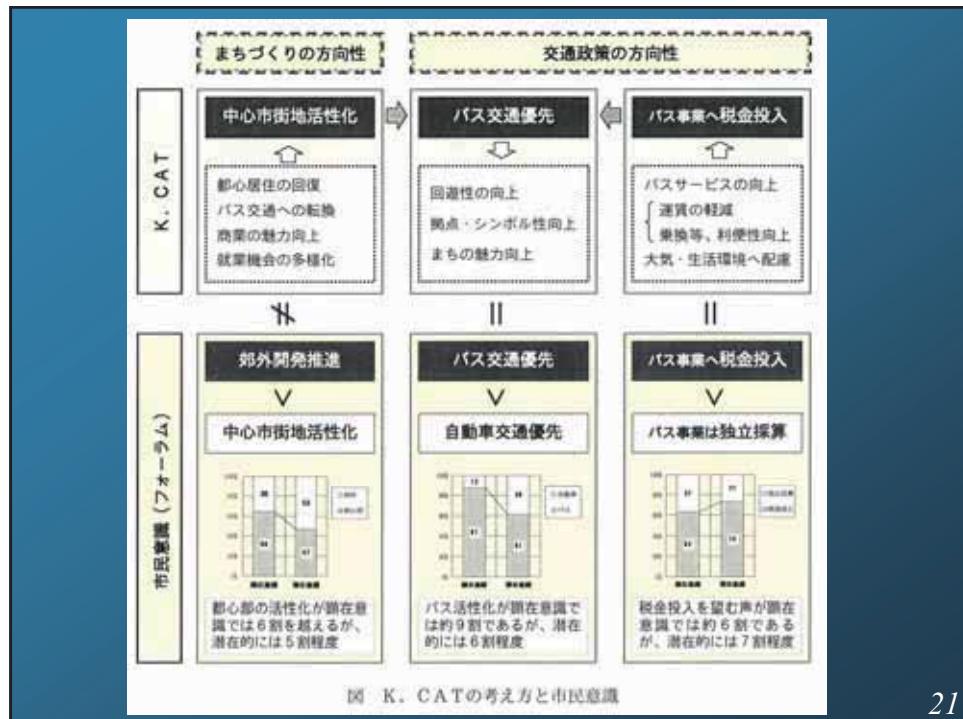
ディベート討論会

テーマ:「バス交通税?あなたは支払えますか?」

独立採算派	コーディネーター 高山 純一 K.CATフォーラム実行委員会代表 金沢大学工学部助教	税金投入派
・交通事業者への税金の徴収には、反対の立場である。需要の少ない路線については、路線の縮小・廃止もやむを得ないと考えている。	13:05 基礎情報 <15分> 独立採算派か? 税金投入派か?アンケート	・車の免許をもたず、もっぱら自転車とバスを利用する北陸大学駒場駅前ドアの交通活性化に非常に興味がある。
・七葉、金沢、南阿にある5社の社長または役員を務め、石川県にリケンする以前は、大手建設会社に勤務し、京都、東京などに住んでいた経験もある。 ・運営者の立場から規制緩和後の交通事業者へ様々な提案を行なう	13:20 先攻 一、バス事業のあり方 ・メンバー自己紹介 ・各派の主張 <5分>	・自由で「どんぐりこども造型教室」を主宰するほか、金沢エコライフエコマラソンなどにて活動 ・規制緩和による公共交通(集合バス)の課題と指摘 ・まちづくりの観点から公共交通の必要性を主張する
・奥大を卒業し、自作の看板業を手伝いながら、自身の壁画作品を作成している。 ・日暮、日暮駅等へ出店を開ける中、運営者の立場から規制緩和後の公共交通事業者へ様々な提案を行なう	後攻 二、施策提案 <45分>	・青海万里子 ・自宅で「どんぐりこども造型教室」主宰するほか、金沢エコライフエコマラソンなどにて活動 ・規制緩和による公共交通(集合バス)の課題と指摘 ・まちづくりの観点から公共交通の必要性を主張する
・会社役員を務める傍ら、金沢青年会議所の2011年度地区開拓委員会委員長を務めるなど、多方面で活躍 ・経営者の立場から、規制緩和後の公共交通事業者へ様々な提案を行なう	14:15 休憩 <20分> (再)独立採算派か? 税金投入派か?アンケート	・沖伊知郎 ・日本政策投資銀行北陸支店の企画課長として活動 ・規制緩和による公共交通(集合バス)の課題と指摘 ・まちづくりの観点から公共交通の必要性を主張する
	15:00 高山行司のまとめ <20分>	

20

第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)



21

第4回 金沢の歩きたくなるまちづくり

H14.12.8開催

◆ 背景
中心市街地の回遊性向上

◆ フォーラムのねらい
①都心の魅力向上提案
②歩きたくなる環境整備について議論
③具体化に向けた展開方針の整理

◆ 形式: 代替案提案による討論方式
・目標設定まちづくり誘導型
・スクラップ＆リサイクル・ビルド型
・オーソドックスなストック活用型

22

提案内容

◆都心の魅力向上

①武藏

四つ葉のクローバー構想

②南町

賑わいアベニュー構想

③5タウンズ

迷宮のまちづくり

◆歩きたくなる環境の整備

①公共交通の充実

- ・エコモール
- ・循環型トラムバス

②自動車と分離した歩行空間の確保

- ・フリンジパーキング
- ・自転車用裏道ネットワークなど

③快適な歩行空間の創出

- ・楽しめる裏道整備
- ・歩きたくなる情報提供システムなど

23



第5回 どうする!?『武蔵』 —10年後の武蔵のまちづくり戦略を考える—

H16.2.29開催



- ◆ 背景
 - 中心市街地の空洞化
 - 近江町市場や横安江の再整備
- ◆ フォーラムのねらい
 - ①まちづくりの方向性の検討
 - ②地元代表者を交えた議論
- ◆ 形式:ディベート討論型

行きたくなる武蔵 vs 住みたくなる武蔵 25

多様な住宅を実現しよう 26/26

武蔵らしい歴史的家並みの演出



・たくさん残る歴史的まちなみを
武蔵ブランドに
・意図的にまちの
風格を演出しよう



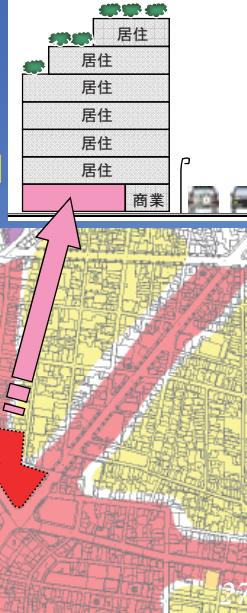
「住みたくなるまち」の中心となる場所 27 / 26

街なか居住支援総合センター

- 場所: ムサシンテリジェントビル
- コンセプト: 「武蔵居住の総合案内所」

● 施設内容:

- ・生活情報・居住情報の発信
- ・「武蔵カンパニー」の事務所
(総合窓口)
- ・地域の交流
- ・地域ハローワーク
(地域活動の募集・斡旋)



食 大人の隠れ家 ふくろう通り

ふくろう通りは、近江町市場とは一味違った“食”を提供する通り。見ためは町家でも、中に入れれば大人が集まる隠れ家的なレストランやバーがひっそりと佇んでいる

見ためは町家 中は
レストランや隠れ家バー



戦略 「気やすくする」

The map highlights several areas for improvement:

- ①駐車場を知ってもらう (Inform about parking lots)
- ②バス待ち環境を改善する (Improve bus waiting environment)
- ③自転車・バイク駐輪場を拡大する (Expand bicycle parking spaces)
- ④歩きやすい空間の連続的整備(内周り・外周り・駅からの地下道連続) (Continuous improvement of pedestrian-friendly spaces (inner and outer rings, connection to stations via underground walkways))

第6回 街めぐり あなたはどっち!? バスvsチャリ

H17.2.27開催

◆ 背景
まちなかの交通渋滞、
自転車の魅力再発見

◆ フォーラムのねらい
①自動車以外の交通手段への転換
②まちなかの回遊促進

◆ 形式：ディベート討論型
バス利用vs自転車利用

第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料
(2009.3.20)

「ふらっと & おんぼら～と」バスシステム

①ふらっと一周ルート

- 現行周遊バスルートを改善・活用
 - ・1周1時間
 - ・15分間隔

②おんぼら～とルート

- 現行コミュニティバスや路線バス、季節限定便等を設定・活用

subsystem

『金沢BUSポート』 共通フリー PAS system

市内バス共通フリー PASポート
観光施設・提携店の割引特典付き！

【現状】	周遊バス	コミュニティバス	路線バス
観光乗車券	○	×	○
ICカード	×	○	○

みんなで支える
街めぐり

市民
企業
行政

《市内バス共通フリー PAS》

32

乗り捨て可能なレンタサイクル

- 乗降は
チャリステーション

The diagram illustrates a rental bicycle system. At the top, a person is shown riding a yellow bicycle towards a purple circular 'charistation' sign containing a white bicycle icon. Orange arrows point from the person to the sign and then to another person walking away from the sign. At the bottom, another person is shown riding a red bicycle towards the same 'charistation' sign. Orange arrows point from the person to the sign and then to another person walking away from the sign. The background is blue with orange bicycle icons in the corners.

33

改善提案

自転車走行環境の整備

- 歩道の段差解消
- 自転車通行帯の設置(電柱の地中化)
- 自転車通行帯のネットワーク化
- 案内看板の設置
- 駐輪場の工夫

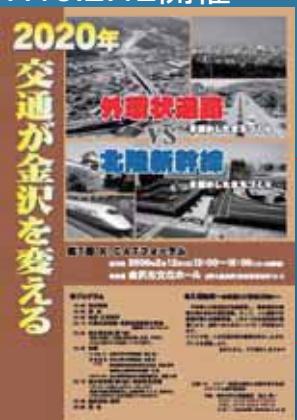
A photograph showing a paved bike lane next to a sidewalk. There are trees and buildings in the background. A blue circular road sign with a white bicycle symbol is visible on the right side of the lane.

快適な自転車通行帯
(アムステルダム)

34

第7回 2020年交通が金沢を変える

H18.2.12開催



- ◆ 背景
北陸新幹線のH26金沢開業決定、山側環状全線開通
- ◆ フォーラムのねらい
①これらを活かすまちづくり
②交通環境のあり方
- ◆ 形式:ディベート討論型
外環状道路を活かしたまちづくり
vs北陸新幹線を活かしたまちづくり 35

提案

支える つなぐ 活かす

外環状と放射状道路のコラボレーション



- 移動がラクラク♪
- バス優先ルート
- バスの運行頻度高い
- パーク＆ライド駐車場 + 「環状バス」の運行
- 郊外間も便利に♪ 36

提案

支える つなぐ 活かす

金沢の四門～美しいみちづくり～

外環状からまちなかへのエントランスロード

金沢の“四門”

- 青龍
- 白虎
- 朱雀
- 玄武

美しい沿道景観の形成

金沢外環状道路 (L=45km)

交通の提案

地球に優しく便利な二次交通

デュアル・モード・ビークルの運行

環境にやさしく、時間に正確！

第10回K. CATフォーラム これまでの提案 発表資料 (2009.3.20)

駅から始まる物語

コンベンション主催のBさん

物語の提案

国際会議場の充実

VIPをもてなす頂上作戦

既存施設をネットワーク

21世紀美術館 観光会館

旧県庁

キャノピーで雨天時の移動も快適に

旧県庁を迎賓館に

駅にVIP用待合室

お茶屋や料亭の本物のもてなしをPR

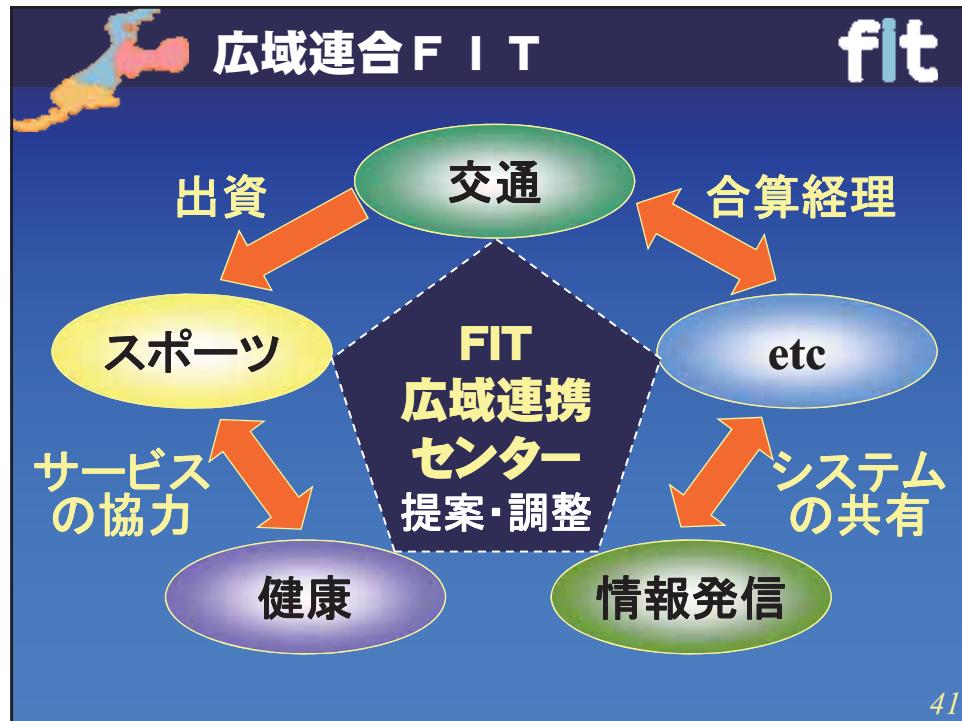
39

第8回 連携と交流による 金沢まちづくり戦略を考える

H19.2.11開催

- ◆ 背景
国土形成計画の策定、広域交通網(東海北陸自動車道等)整備
- ◆ フォーラムのねらい
①他都市との連携・交流方策
②金沢の活力向上
- ◆ 形式・提案発表による討論型
・北陸都市連携
・広域都市連携

40



41



42

金箔を活かす

歴史 伝統 産業 食文化

金沢駅もてなしドーム(鼓門・テンションリング)



43

平成の北前船

歴史 伝統 産業 食文化

北前船

- ◆加賀百万石を支えた交易船
- ◆各地に点在する寄港地

「平成の北前船」で
金沢を元気に！



44

第9回 歴史文化資産を活かした 金澤づくりを考える—住んで良し・訪れて良しのまち—

H20.2.2開催



◆ 背景

- 世界遺産登録運動、町家等の歴史文化資産の減少
- ◆ フォーラムのねらい

 - ①歴史文化資産の保全と活用
 - ②居住者・来訪者両方の考慮

- ◆ 形式：提案発表による討論型
 - ・町家・庭園・用水を活かした提案
 - ・用水・広見・町割を活かした提案₄₅



視 聴 触 嗅 味

赤い屋根が点在



美しい屋根並み形成

【提案】町家を活かす

47

視 聴 触 嗅 味

黒で統一 ⇒ 美しい眺望景観

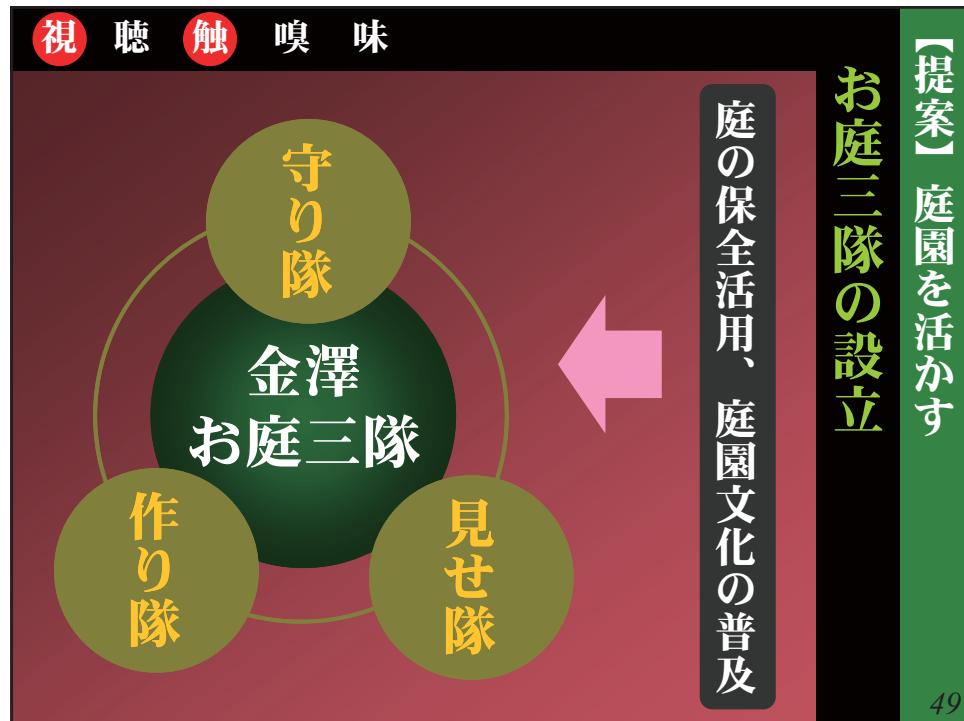
屋根から金澤の街並みを創る

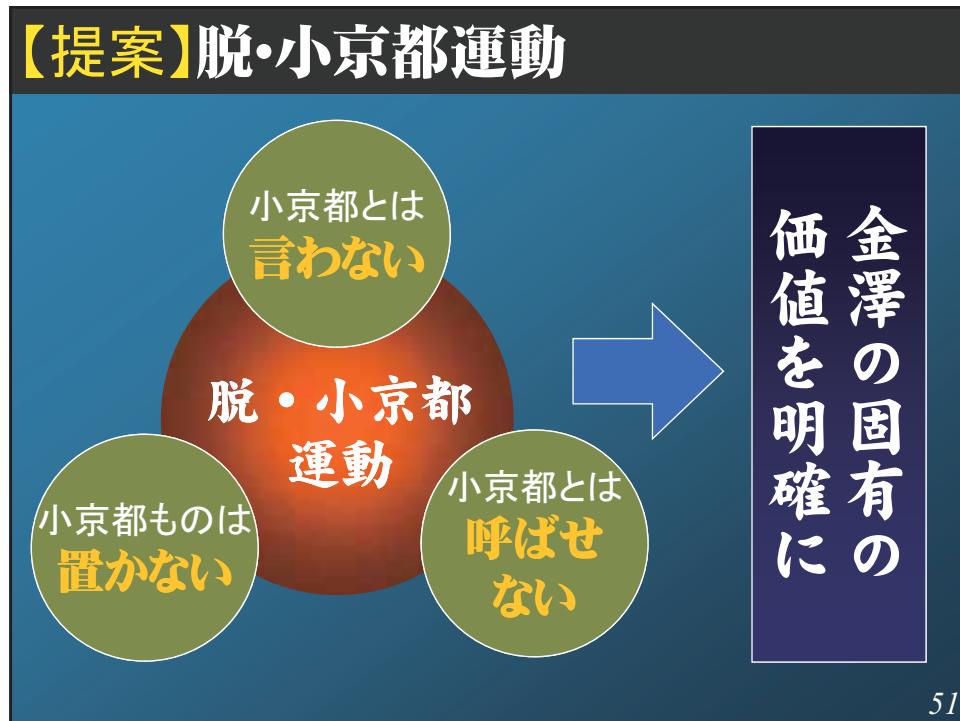


美しい屋根並み形成

【提案】町家を活かす

48





51

K. CATの提案その後…

Kanazawa City And Transportation

52

【現在】外環状と放射状道路の活用

新金沢交通戦略へ反映(H19.3)



- ・公共交通重要路線を放射状道路に位置付け
- ・環状バス運行実験

53

【現在】自転車走行環境の整備

自転車走行指導帯の設置



(H19.3) 54

【現在】金箔をまちに活かす

犀川大橋の銘板に金箔活用



(H21.3)

55

提案内容の詳細は
K. C A T の H P をご覧ください。
<http://www.k-cat.jp/>

ご清聴ありがとうございました

Kanazawa City And Transportation

56